

平和の尊さを次世代へつなぐ

東京空襲資料展

昭和20(1945)年3月9日夜から10日明け方にかけての東京大空襲では、亡くなった方は約10万人、罹災者は100万人を超えたといわれています。戦後80年という節目にあたる今年度は、戦争の記憶を風化させず次世代へ引き継ぐため、例年よりも展示内容を拡充して開催します。

日 2月28日(土)～3月13日(金)午前10時～午後8時(13日は正午まで。休月曜日)

所 三鷹市公会堂さんさん館



問企画経営課 0422-29-9032



黙とうにご協力ください

都では、東京大空襲のあった3月10日を「東京都平和の日」と定めています。戦災で亡くなった方の追悼と世界の恒久平和を祈り、3月10日(火)午後2時から市の防災無線を合図に1分間の黙とうを行います。皆さんのご協力をお願いします。



戦争体験談、戦争関連資料をお寄せください

問企画経営課 0422-29-9032

市では、ご本人が語る戦争体験談の映像や関連資料をアーカイブ化し、「みたかデジタル平和資料館」で公開しています。ご提供いただいた関連資料は「みたか平和資料コーナー」に展示しています。

戦争体験の声を聞かせてください

戦時中の暮らし、集団疎開、戦地の様子など、ご自身の体験を話してくださる方を募集しています。

戦争関連資料を探しています

戦時中の生活をしのぶ手紙や写真、軍隊資料などをご提供ください。写真撮影後の返却も可能です。

みたかデジタル平和資料館

戦争体験談の映像や戦争関連資料、市の平和事業などを紹介している特設サイトです。



千人針(出征兵の弾よけのお守り)



空襲で焦げた英語の参考書

みたか平和資料コーナー

(市役所3階・三鷹駅前市政窓口)



戦争関連資料のほかにも資料・情報を広く探しています

問生涯学習課 0422-29-9862

市では、新たな『三鷹市史』の編さんに取り組んでいます。三鷹に関係のある資料や記憶、情報など、心当たりのある方は同課までご連絡ください(ささいな情報でも構いません)。

集めている 資料・情報例

- 古文書、絵図、地図など
- 家や地域に昔から伝わる物・話
- 自治会・町内会、青年団、消防団などの記録や書類
- 三鷹市に関する書籍やチラシ、パンフレット

地球市民講座

アナトリアの遺跡に立って50年 －大村幸弘が残した平和への架け橋 手話



問企画経営課 0422-29-9032

考古学者の故・大村幸弘さんと研究を共にした妻の正子さんが、異国での活動することの楽しさや困難、人々との交流などを、戦争や平和への思いも交えて紹介します。

日 3月15日(日)午後2時～4時 人所①三鷹産業プラザ=120人、②オンライン会議アプリ「Zoom」=90人、
中近東文化センター附属アナトリア考古学研究所研究員の大村正子さん(写真) 申①当日会場へ、②3月9日(月)までに申し込みフォーム(QRコード)へ(いずれも先着制)



大沢ヒストリア講座(第2回)

大沢地域の戦争の歴史

問生涯学習課 0422-29-9862

市では、中学校を生涯学習や学びの場として活用してもらうため、地域の歴史や文化などをテーマとした講座を開催しています。今回は、大沢地域の戦争の歴史を学びます。

日 所 3月14日(土)①七中(お話)=午前10時～11時30分、②国際基督教大学など(フィールドワーク)=午後1時～3時30分(②雨天中止) 人 20人 講 ①同大学名誉教授のスティール・マリオン・ウィリアムさん 申 3月12日(木)までに申し込みフォーム(QRコード)へ(先着制)



撮影:まちなかカメラマン 佐久間俊輔